

## 防衛大学校 教官公募

【公募人員】教授 1名

【所属】防衛学教育学群 統率・戦史教育室

【専門分野】日本に関する軍事史

【担当科目】本科（学部相当）：「軍事史序論」、「軍事史Ⅱ（日本の近代軍事制度）」

【応募資格】(1)博士の学位を有する（着任までに博士の学位を取得見込みの者を含む。）又はそれに準ずる研究業績を有する方。

(2)「軍事史序論」において、教育資料の作成及び教育実施等について、同科目を担当する教官の統制や助言等が実施できる方。なお、「軍事史序論」の共通シラバスについては別紙のとおりである。

(3)本校の使命と防衛学教育学群の役割を理解し、本科学生に対する教育研究能力を有し、将来の幹部自衛官となる学生に対し熱意をもって教育研究できる方。

### 【応募資格のない者】

ア 日本の国籍を有しない者

イ 自衛隊法第38条第1項の規定により自衛隊員になることができない者

○禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又は執行を受けることがなくなるまでの者

○法令の規定による懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者

○日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

ウ 平成11年改正前の民法の規定による準禁治産の宣告を受けている者（心神耗弱を原因とするもの以外）

エ 自衛隊法第44条の2（自衛官以外の隊員の定年及び定年による退職の特例）に該当する者（この選考では、令和6年度中に65歳に達する者）

【着任時期】令和6年10月1日（火）（応相談）

【提出書類】(1)履歴書（写真貼付、E-mailアドレスを明記の上、学歴、職歴、学会及び社会における活動等を記載）

(2)応募票（書式を本ホームページからダウンロードの上、記入及び押印すること）

(3)研究業績リスト（学术论文、著書、総説、学会発表、その他特記事項に区分して記載）

(4)主要論文・著書等（5編以内、コピー可）

(5)これまでの研究概要（1000字程度）

(6)教育実績

(7)シラバス（「軍事史Ⅱ（日本の近代軍事制度）」15回の講義計画）

(8)社会的活動

(9)本校における教育及び研究に関する抱負とビジョン（1000字程度）

【応募締め切り】令和6年3月31日（日）必着

【書類送付先及び問い合わせ先】

〒239-8686 神奈川県横須賀市走水1-10-20

防衛大学校 防衛学教育学群 統率・戦史教育室長 井上 互

E-mail: saiyou\_01@nda.mod.go.jp

\*問い合わせは原則メールで受け付けます。

\*簡易書留で封筒に「教官応募書類在中」と朱書きのこと

\*提出書類は、原則として返却致しません。

【その他】(1)書類選考の上、候補者に対して面接及び身体検査を行います。（日程は別途連絡します。）

(2)結果につきましては、直接本人に連絡致します。

(3)適任者がいない場合には、決定を保留することがあります。

(4)防衛大学校では、男女共同参画を推進しています。男性女性を問わず、優秀な教育研究者の積極的な応募を歓迎します。

(5)面接及び身体検査の際の往復の交通費は支給しません。

科目名	軍事史序論	科目区分・単位	必修・共通、2単位
		毎週授業時限数等	第2学年：前・後期、毎週2時限
担当教官	統率・戦史教育室各教官		
授業目的	軍事史は、国の防衛に関わる者の必須の教養であり、史的考究により有効な方策を導く基礎となるものである。本講義では、近代以降の日本の軍事史について、国防政策、軍事戦略、軍事制度、戦争・作戦指導などの視点から考察し、事後の研鑽に必要な軍事史的素地を確立する。		
授 業 計 画			
回	細 目	内 容	
1	導入 軍事史を学ぶ意義	▶ 授業のねらいと授業計画	
2	近代国家形成過程と 戦争の作用	▶ 地理的特性・民族性と国防思想・軍事制度の関係	
3		▶ 日清・日露戦争	
4		▶ 第1次世界大戦への日本の対応	
5		▶ 新国際秩序への各国の対応	
6	リージョナル・パワー の新たな課題	▶ 総力戦（長期持久戦）への対応とその影響	
7		▶ 軍縮・軍備管理と国際協力	
8	勢力圏構想と対外進出	▶ 国際協調の破綻と勢力圏構想	
9		▶ 勢力圏拡大の連鎖と戦争の泥沼化	
10	戦争への道程と 開戦経緯	▶ 第2次世界大戦から太平洋戦争における国際情勢の変化	
11		▶ 同盟の効用と開戦	
12	戦争における攻防の 転換	▶ 作戦・戦争指導の変遷とその要因	
13		▶ 総力戦としての太平洋戦争の特徴	
14	敗戦の意味と戦後日本	▶ 降伏を決意する要件	
15		▶ 戦後日本の安全保障体制の特異性	
成績の評価：試験（学期末、小試験）、レポート及び受講態度等 配分の割合を含む細部は、第1回目の授業において、担当教官から示される。			
参考図書：戸部良一『逆説の軍隊』（中央公論社、1998年、中公文庫化、2012年） 池田清『海軍と日本』（中公新書、1981年）			